

2 バリアフリー化に向けた基本理念・取り組み方針

(1) 基本理念

本マスタープランは、「奈良市バリアフリー基本構想」の基本理念に基づき策定します。

基本理念

だれもがいきいき暮らし、気軽に出かけられる古都奈良
～安全・安心で快適な生活と観光の共生を目指して～

(2) 取り組み方針

①ユニバーサルデザインの考え方に沿ったまちづくり

高齢者や障害者(身体障害者・知的障害者・精神障害者・発達障害者等)、妊産婦、子育て世代(子どもも含む)、けが人などが、分け隔てなく社会参加をすることができる環境づくりを目指します。また、上記の方々に加え、外国の方々も含めて、国内外のだれもが訪れやすい、訪れたいくなるような、「ユニバーサルデザイン」の考え方に沿った、国際文化観光都市としてふさわしい環境づくりを目指します。

②奈良の魅力を高めるバリアフリーの推進

景観や歴史的価値とバリアフリーを両立させ、性別や年齢、障害の有無、文化の違いなどを超えて、全ての人々が気軽に来訪し、奈良の魅力に触れていただくことができる、古都奈良の魅力をさらに高めるまちづくりを目指します。

③みんなで取り組むバリアフリー社会の実現

障害があるの方々をはじめ、だれもが社会に参加できる環境を実現するため、個人も事業者も当事者も、みんなで出来ることから取り組むことで、まち全体でのバリアフリー化を図ります。

街なかの道路や店先の段差などハードの改良だけでなく、おもてなし・接遇・人による介助といったソフトの対応も含めて、1つずつできることから改良し、だれをも迎え入れ、見守ることができるバリアフリー社会の実現を目指します。

④思いやりの精神をはぐくむこころのバリアフリーの推進

ひとりひとりが高齢者や障害者等への理解を深め、困ったときには自然に助け合える“こころのバリアフリー”を推進し、お互いに支え合い、だれもが同様に尊重しあう、思いやりの精神をはぐくんでいきます。